

## 令和元年度 部局経営方針

部局名	農業委員会事務局	部局長名	黒木 秀樹	
部局の経営資源	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和元年度中に策定した計画 (根拠法令等)
	正職員	4	一般会計	33,471
	再任用職 任期付職		特別会計	0
	嘱託員	1	前年度繰越額(千円)	
	臨時職員	1	一般会計	0
			特別会計	0
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>1 ・県とともに国有農地等を適正管理し処分する。                      ・遊休農地の所有者に対し、県農地中間管理機構に農地の貸し出しについて意志確認を行い、遊休農地の解消を行う。                      ・毎月の定例総会で農地の権利移動や転用の議案に対し農地法に基づく審議決定を行う。                      ・市内全域の農地パトロールを行い、無断転用や遊休農地の発生を確認する。</p>			
	<p>2 農業委員・農地利用最適化推進委員及び関係機関と連携し、加入対象者に対し臨戸訪問を行うなど、農業者年金の加入推進活動を行う。また、農業青年会議など農業団体と連携を図り、団体の活動内容の充実支援に努める。</p>			

## 【成果と課題】

- 1 ・県とともに国有農地等を適正管理を行った。開拓財産 管理件数 2件、面積277㎡
  - ・荒廃農地の所有者に対し、県農地中間管理機構に農地の貸し出しも含め今後の利用意向の確認を行った。
  - ・毎月の定例総会で農地の権利移動や転用の議案に対し農地法に基づく審議決定を行った。権利移動 48件、転用 169件
  - ・委員とともに市内全域の農地パトロールを行い、無断転用や荒廃農地の発生の確認を行った。再生可能な荒廃農地 2.4ha
- 2 定期的に農業者年金加入推進会議を行い、農業委員・農地利用最適化推進委員及び農業者年金受給者協議会と連携し、加入対象者に対するチラシ配布や臨戸訪問を行い、2名が農業者年金制度に加入した。また、農業青年会議主催の消費者交流事業や高校生農業ボランティア体験事業の運営を支援し、担い手の育成を図るとともに、事業参加者に農業への理解を深めていただいた。